

# みらいNEXT

北区GIGAスクール構想通信



— 教育DXで広がる子どもたちの学び —

令和8年  
4月号

<https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/schools/1018650/1018654.html>

東京都北区教育委員会教育振興部 教育DX推進課 (03-3908-9273)

北区GIGAスクール構想通信『みらいNEXT』は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、教育DX推進課が毎月発行いたします(8月以外)。

## 教育DXで学校はどう変わる?

### ～デジタルを活用して、より豊かでより深い学びを～

近年、社会ではデジタル技術を活用したDX(デジタル・トランスフォーメーション)が広がっています。北区でも、教育分野のDXを推進するため、「学び未来課」が今年度、「教育DX推進課」としてリニューアルしました。

学校と教育DX推進課が一体となり、保護者の皆様にもご理解・ご協力をいただきながら、デジタルの力を生かした次のような学びの姿を実現してまいります。

#### ●一人一人に合った学び

これまでの授業は、先生の説明をみんなで同じように学ぶ形が中心でした。一斉授業は今も大切ですが、ICTを活用することで、探究的な学習などでは一人一人の進度に合った学びができるようになりました。

また、今年度導入したドリル学習アプリでは、子どもの理解度に合わせてAIが問題を出します。家庭学習でも効果が期待されます。



自分で決めた学習計画で学びを進める中学生

#### ●友達と学び合う活動

ICTは、友達と協力して学ぶ場面でも活用されています。例えば、グループで意見をまとめたり、発表資料を一緒に作ったりする活動では、「きたコン」を使って考えや作品を共有できます。

こうした活動を通して、考える力や表現する力が身に付き、さらに多様性にも気付き、思いやりの心が育ちます。

#### ●学びを支える新しい環境

教育DXやAIは、授業だけでなく学校生活のさまざまな場面に広がっています。例えば、資料の配付や提出をデジタルで行うことで、教師は子どもの学習の理解度を把握しやすくなり、きめ細かな指導が可能になります。

これらは授業準備や校務の効率化にもつながり、子どもと向き合う時間を大切にすることにも役立ちます。



教師と子どもと一緒に遊べるゆとりも教育DXで実現

#### ●教育データの利活用

出欠席や今の気分などのデータを可視化して教師同士で情報を共有することで、子どもたちの体調や心の変化に早く気付いて対応することができます。支援や声かけがしやすくなり、安心して学校生活を送れる環境づくりにつながります。また、教員の子ども自身の振り返りにもつながり、生活リズムや自己管理の力も育ちます。

\* \* \* \*

デジタルが身近な社会では、情報を正しく活用する力や、自分の考えを伝える力がこれまで以上に求められています。

また、「きたコン」の使い方だけでなく、情報モラルやネットとの上手な付き合い方などを学ぶ「デジタル・シティズンシップ教育」とあわせて、学びをより深く、より豊かにしていきます。やる気いっぱいの教育DX推進課にご期待ください!

## きたちゃん こん本 きた子 コンちゃん by Toshi & Chappy



## デジタルとアナログ、どっちが大事?

「デジタルかアナログか」と比べる時代から、今はそれぞれの良さを生かす時代になりました。例えば、調べる・共有する・まとめるならデジタル、考える・文字を覚えるならアナログなど、学びに応じて使い分けことが、子どもたちの力をより伸ばします。どちらか一方ではなく、両方を上手に活用できる子どもたちに育てたいと考えています。